

第10-3号

耕人

『耕人塾』

塾長 木村 民男

令和3年7月17日(土)

「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」の合言葉をつくろう！

『耕人塾』では、実践事項「あいさつ・清掃・ゴミ拾い・プラスワン」を工夫しながら継続してきましたが、第10期は共通の意識で取り組むための「合言葉」をつくりたいと思っています。それぞれの方向性を示しますので、塾生の皆さんで「合言葉」を考えてみませんか。

○「あいさつ」について

「あいさつ」は漢字で「挨拶」と書きますが、「挨」は推す、「拶」は迫るという意味で、意識すると相手の心を推しはかりながら自ら心を開いて近づくということです。時と場に応じて親しみを込めて自分から相手に近づいていくような言葉やしぐさは、謙譲の心を養うことに繋がります。自分も周りも爽やかな温かい気持ちになるあいさつにしたいですね。

○「清掃」について

「清掃」とは、きれいに掃除をすることです。掃除はゴミやほこりを掃いたり拭いたりして取り除き、清潔にすることですから、それをさらにきれいにすることになります。『耕人塾』でも使用した会場を塾生や教学委員が協力して清掃している姿はとても爽やかで温かな気持ちにさせてくれます。感謝の気持ちを込めて丁寧に清掃したいですね。

○「ゴミ拾い」について

道路や公園などに捨てられたペットボトルや空き缶、ビニル袋やたばこの吸い殻などが川から海へと流れて海の生物が汚染され、大きな問題になっています。ゴミを拾うということは奉仕の心を形に表すことであり、地球環境を守ることにもつながります。喜んでさりげなくゴミ拾いをするようになりたいですね。

「SDGs（エスディーゼズ=SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS、持続可能な開発目標）」という言葉を知ったことがあると思います。「SDGs」は2015年9月、国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標です。「貧困をなくそう」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」など2030年までに達成すべき17の目標が示されています。それを具体的にした「169のターゲット」が決められました。その中には人に親切にすることやプラごみ等を出さない運動なども含まれています。「SDGs」と『耕人塾』の実践事項「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」を関連させた取り組みがあってもいいですね。

「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」を実践するときの「合言葉」を教学副委員長の小松先生まで提出（7/22木まで）してください。どんなアイデアが出てくるか楽しみにしています。

「大谷翔平、一塁へ向かう途中にさりげなくゴミ拾い」

6/22のユーチューブニュースに次のような記事が載っていたので紹介します。

「米大リーグのエンゼルス・大谷翔平投手が21日（日本時間22日）、ア・リーグの週間MVPに選ばれた。打者で6本塁打、投手で1勝と驚異的な活躍を見せた二刀流。『6戦6発+1勝の衝撃』と題し、この1週間にグラウンド内外で起きた様々なシーンを振り返る。今回は17日（同18日）の本拠地タイガース戦、四球となり一塁へ向かう途中、大谷がさりげなくした“ゴミ拾い”。実際のシーンを公開した米メディアには、称賛の声が寄せられた。」

私も動画を見てみました。大谷選手が四球を選び、肘あてなどを受け取りに来たボールボーイの肩を優しく叩いて励ました後、落ちていたごみをさりげなく拾って左ポケットに入れ、笑顔で一塁まで歩いていきました。その自然な姿に「偉大な模範」と米国で大きな話題になっています。私たちがさりげなくゴミ拾いをしたいですね。